

目指す姿1 それぞれの豊かさに出会い、自分らしく育む —誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井

⑤文化芸術を活用した地域社会の再生と創造
①県民主体の活動の振興

施策の方向性	想定される協働プロジェクト	R6までの県の取組み実績・課題	R7年度以降の方向性
	<p>1) 総合型文化祭の開催による文化芸術活動の促進 分野を超えた総合文化祭を開催し、文化芸術活動実践者の交流やまだ文化芸術活動を実践していない県民の参加を促進</p> 	<p>R5年度まで 個別の県域文化団体が開催する活動発表等への補助(年間20件程度)</p> <p>R6年度～ 分野横断の総合的な文化祭開催を支援(県文化協議会への補助)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野ごとの発表会に留まり、参加者が広がらない ・少子高齢社会の進展等により、文化団体の存続が困難になっている </div>	<p>・福井県文化協議会との共催により、分野横断型の総合文化祭の開催を継続</p>
	<p>2) アーティスト・データベースの充実と活用促進 様々な分野で活動する県内アーティストのを登録する「芸術文化人材データベース」の充実を図り、活用したい地域、企業、団体等とのマッチングにより発表機会を拡大</p> 	<p>越のルビーアーティストバンク (H26開設) …福井ゆかりの演奏家を登録(オーディション等により選出) 登録者数:60名</p> <p>芸術文化人材データベース (R5開設) …福井県にゆかりのあるアーティストや芸術文化団体の活動情報を掲載 登録件数:34件</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内アーティストの活用が進んでいない </div>	<p style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 2px;">センター事業</p> <p>・人材データベースを活用した催事事業者に奨励金を支給し、人材データベースの利活用を促進</p>

官民の協働による推進が必要なプロジェクトについて

目指す姿1 それぞれの豊かさに出会い、自分らしく育む —誰もが文化芸術と触れ合い、自ら参加・創造し、心豊かに暮らす福井

施策の方向性	想定される協働プロジェクト	R6までの県の取組み実績・課題	R7年度以降の方向性
<p>⑤文化芸術を活用した地域社会の再生と創造</p> <p>①県民主体の活動の振興</p>	<p>3)アートプロジェクトによる文化芸術創造</p> <p>県文化振興事業団にアーツカウンシル機能を付与し、アートプロジェクト実践者への支援、人材育成、リーディングプロジェクトを企画するとともに、地域で継続的に活動する団体を支援</p> 	<p>・地域の魅力向上、地域の課題解決に寄与する文化団体が実施するアートプロジェクトに助成金を支給(R4年度～)</p> <p>R4年度 27プロジェクト:27申請 R5年度 43プロジェクト:45申請 R6年度 33プロジェクト:56申請</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートプロジェクトに対する理解が広がらない ・アートプロジェクトに取り組む団体は増えているものの、資金面や人材面で課題を抱えている団体が多い </div>	<p>センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県文化振興事業団のアート振興部を改組し、「ふくい文化創造センター」を設置 ・文化芸術活動に関する知見を持つディレクター(外部人材)を配置し、助成だけでなく、相談・助言等を行う
<p>②県民すべての表現・参加機会の拡大</p>	<p>4)多様な主体による創造・鑑賞活動の促進</p> <p>障がいのある方や高齢者、在留外国人など、多様な主体が文化芸術活動に参加する機会や鑑賞する機会を拡充し、文化芸術を通じた共生社会の実現を図る</p> 	<p>・障がいの有無や年齢に関わらず多様な作家の作品を一堂に展示する「まるまるつながるアートてん まる」開催(R5年度～)</p> <p>R5来場者数:2,336人(本展+巡回展) R6来場者数:1,947人(本展)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方、高齢者、在住外国人などの創造・鑑賞機会が十分に確保されていない </div>	<p>・「まるまるつながるアートてん まる」の開催を継続</p> <p>センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある方が楽しめる・参画できる文化芸術プログラムを企画・運営できる人材を育成する教育プログラムを実施 <p>センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設にアーティストを派遣し、演奏会等を開催

官民の協働による推進が必要なプロジェクトについて

目指す姿2 **ここにある輝きを、これからへ贈る** —みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井

施策の
方向性

想定される協働プロジェクト

R6までの県の取組み実績・課題

R7年度以降の方向性

5)文化芸術を担う次世代の育成

次世代を担う子どもたちの鑑賞・体験プログラムを充実し、地域において継続的に文化芸術活動に参加できる環境づくりを推進



③文化芸術を振興する次世代の育成

- ・文化施設の学芸員等による出前講座
R6年度:23校で実施
- ・文化施設において、企画展等を無料で鑑賞できる機会を提供
R6年度:約3,800人が来館(12月末現在)
- ・越のルビーアーティストによる学校等への出張コンサート
R6年度:14校で実施
- ・音楽堂において音楽の基礎知識や楽器演奏の実技などを学べる講座を開催
- ・中学校・高校の文化部にプロの芸術家を派遣し、実技披露や実技指導を実施
R6年度:42校に派遣
- ・音楽堂においてミニコンサート鑑賞会や舞台裏の探検ツアーを実施(R6年度～)
R6年度:計931人参加
- ・文化芸術分野の進路に興味のある中高生を対象としたキャリア講座を開催
(R6年度トライアル実施:32名参加)

【課題】

- ・学校や地域において、子どもたちが継続して文化芸術に親しむ機会が十分とはいえない

センター事業

- ・音楽堂でのミニコンサート鑑賞会や、学校へ出向いて演奏会、体験会など、学校を通じた文化芸術体験の機会を拡充

センター事業

- ・県内公共文化施設と連携し、子ども無料チケット制度を創設

センター事業

- ・文化芸術分野の進路を希望する中高生を応援するためのアートキャリア講座を実施

官民の協働による推進が必要なプロジェクトについて

目指す姿2 ここにある輝きを、これからへ贈る —みんなで地域の文化を守り、育て、未来へ引き継ぐ福井

施策の
方向性

想定される協働プロジェクト

R6までの県の取組み実績・課題

R7年度以降の方向性

6) 伝統行事等に参加しやすい環境づくり

企業等との連携により、地域の祭りや伝統行事に参加しやすい環境やしきみづくりを推進

※これまでの取組みは特になし

【課題】

・人口減少や生活様式の変化などにより、それぞれの地域で伝統行事等を支える人手を確保できないなど、継続困難になっている

※ 9)文化芸術に関するCSR活動の活性化に併せて記載

7) 方言、伝統芸能等の活用

次観光施設や交通機関等における福井の方言や伝統芸能などの積極的な活用により、福井ならではのおもてなしを推進



(R4年度)

・方言プロモーション動画(津田寛治氏出演)制作・公開
・方言Tシャツ、LINEスタンプを作成(デザイン公募)
・映画「時のおと」制作・国内外の映画祭への出品

(R5年度)

・観光客向け方言紹介ツール(方言カード、サイト)を作成し、県内各地の観光施設、文化施設等に設置しているほか、方言カードは、タクシーや観光ガイド等での活用を促進

(R6年度)

・方言動画コンテスト開催

【課題】

・観光客が高い満足度を得ることができる「日常生活体験」や、「歴史・伝統文化体験」の機会が十分とはいえない

・方言カードの活用促進
(飲食店、旅館、土産物店等へ配布箇所を拡大)

・方言コンテストの継続開催
(毎年テーマを設けて開催)

・専門的な知識・ノウハウを有する企業との連携により、地域の伝統行事等の活性化に取り組む団体を支援

④ 地域の文化の振興

官民の協働による推進が必要なプロジェクトについて

目指す姿3 文化でつながる。文化でつくりだす。—文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井

施策の
方向性

想定される協働プロジェクト

R6までの県の取組み実績・課題

R7年度以降の方向性

⑥文化芸術による交流機会の拡大

8)国際的なアートイベントの開催

優れた文化芸術に地域住民が身近に接する機会を提供するとともに、国際機関や国外の芸術関係者、芸術系大学等と交流する機会を創出による県内の文化芸術活動の活性化を図るため、国際的なアートイベントを開催



・熊川宿若狭芸術祭の開催

(R5年度)

県外から2名のアーティスト、1名の美術評論家を招へいし、地元アーティスト1名とともに滞在制作および完成した作品の展覧会を実施

来場者数:約2,000人

(R6年度)

8/20~11/11の約3か月にわたり、アーティスト・美術評論家による公開制作や展覧会、子ども美術の制作公開、音楽キャラバン隊による演奏会などを開催中

来場者数:約3,000人

【課題】

- ・福井の魅力が伝わっていない、認知度が低い
- ・福井県のインバウンド宿泊者数:約6万3,800人(全国第46位)

・市町やまちづくり団体等との連携を強化し、熊川宿若狭芸術祭の拡充

➢熊川宿内の遊休施設を創作・展示の拠点として活用

➢地域の住民や企業、施設等との連携企画を実施

官民の協働による推進が必要なプロジェクトについて

目指す姿3 文化でつながる。文化でつくりだす。—文化芸術の新たな価値を創造・発信し、県民と訪れる人がともに楽しむ福井

施策の
方向性

想定される協働プロジェクト

R6までの県の取組み実績・課題

R7年度以降の方向性

9)文化芸術に関するCSR活動の 活性化

県内企業に文化芸術活動に関するCSR活動の意義と効果に関する理解の輪を広げ、積極的な取組みを促進する



・ビジネスパーソンのための文化芸術セミナーの開催(R6年度トライアル)
10~12月に3回シリーズ講座として開催(越のルビーアーティストによるミニコンサート付き)
参加者数:のべ99人

【課題】

・文化芸術に関するCSR活動の意義や効果について、県内企業の理解が十分でない
・県内企業による取組み事例があまり周知されていない

センター事業

・福井商工会議所等との連携により、企業を対象とした、文化芸術と経済との社会関りについて理解を深めるためのセミナーを継続開催

センター事業

・企業による文化芸術活動を促進するための方策について、企業、団体、行政がともに検討を行う勉強会を設置

10)伝統工芸・地域産業と文化施設等の コラボ

伝統工芸や地域産業と文化施設との連携により、新たな観光コンテンツを開発

・県立美術館において、越前和紙の紙すきや絵越前漆器の沈金を体験するワークショップを実施

【課題】

・文化施設と産業界との連携による観光コンテンツが少ない
・文化施設のリソースを観光誘客に活かしきれっていない

・県立文化施設において、伝統工芸に関する企画展やワークショップを開催

・旅行会社等との連携により、文化施設と伝統工芸を絡めたツアー造成を検討

7 文化芸術によるクリエイティブな経済の活性化